

【事前】評価シート

・・・学生本人記入欄

・・・教員・講師記入欄

氏名		学籍番号		記入日	平成	年	月	日
所属		学部・研究科		学科		専攻	学年	年
科目名		担当教員						

プロジェクトの活動内容・目標		<div style="border: 2px dashed black; padding: 5px; background-color: #ffe6e6;"> チームで共通の内容を予め記入しておく →プログレスシートへ転記可能 </div>	
参加に際して	将来の目標		
	(前提科目がある場合)これまでの取組の振り返り	(今まで学んできたことや身に付いた能力・知識、また、反省点や課題について)	
	このプロジェクトを希望した理由	(例: チームで1つの問題に取組む経験を通して、実際の企業で行う商品開発の手順を学びたい これからの社会になくてはならない最先端技術を研究し、将来、企業で〇〇の開発を行いたい)	
	プロジェクトを通して向上させたい社会人基礎力の能力	(例: 働きかけ力、計画力、発信力)	
	プロジェクトを通して身につけたい専門知識、スキル	(例: テーマとする業界や企業についての知識、統計や調査手法の知識、ホームページ作成のためのプログラミング言語の知識、材料力学の応用知識)	
	プロジェクトで出したい成果のイメージ	(例: 地域ブランドとして定着するぐらいの商品を企画したい、 〇〇のPRを■町民も一体となって行えるようなウェブサイトを開発したい など)	
教員・講師への連絡・相談		(特になければ、空欄でも構いません) <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; display: inline-block;"> 似たような授業や活動(なければ、 普段の活動(授業、部活・サークル、 パイト等))を思い出して・・・ </div>	

	社会人基礎力の分類	能力要素	現在のレベル	評価の根拠(具体的行動事実)
				(いつ、どんな状況(場面)で、どのように努力または工夫をすることにより発揮(しよう)したと思うか、もっと努力や工夫が必要と感じたか)
自己分析	前に踏み出す力(アクション)	主体性	①・2・3	(例: 2年生の時にに行ったゼミで、コンビニ利用者にアンケートを行ったが、アンケートの質問項目の検討や結果の分析作業等において、積極的なメンバーがたくさんいたので、自分から何か提案したり、調べたりせず、ほぼ他のメンバーの指示通りに動くだけだった。)
		働きかけ力	①・2・3	
		実行力	1・②・3	
	考え抜く力(シンキング)	課題発見力	1・2・3	以下の基準をもとに、レベルをチェック レベル1: 発揮できなかった (どうしてもできなかった) レベル2: 通常の状態では発揮できた (何とかできた) レベル3: 通常の状態でも効果的に発揮できた (見事にできた) 困難な状況でも発揮できた (とても難しかったが、何とかできた)
		計画力	1・2・3	
		創造力	1・2・3	
	チームで働く力(チームワーク)	発信力	1・2・3	
		傾聴力	1・2・3	
		柔軟性	1・2・3	
		状況把握力	1・2・3	
		規律性	1・2・3	
		ストレスコントロール力	1・2・3	

教員・講師からの講評・アドバイス		教員・講師名
------------------	--	--------

活動記録シート

…学生本人記入欄

…教員記入欄

氏名		学籍番号		記入日	平成	年	月	日()
所属	学部・研究科			学科・専攻	学年	年		

活動期間	月	日()	～	月	日()	第	週
活動の内容							

分類	能力要素	発揮(しよう)した または 発揮できなかった 能力	評価の根拠 (いつ、どんな状況(場面)で、どのように努力または工夫をすることにより発揮(しよう)したと思うか、もっと努力や工夫が必要と感じたか等を具体的に記入)
前に踏み出す力 (アクション)	主体性		<p>以下の基準で、評価する</p> <p>レベル1: 発揮できなかった(どうしてもできなかった)</p> <p>レベル2: 通常の状態では発揮できた(何とかできた)</p> <p>レベル3: 通常の状態でも効果的に発揮できた(見事にできた)</p> <p>困難な状況でも発揮できた(とても難しかったが、何とかできた)</p> <p>以下のような場面などを思い出し、そのような場面があれば、発揮できたかどうかを振り返ってください。</p> <p>主体性…課題解決に向けて、自分から行動を起こすことができたか</p> <p>働きかけ力…他人を巻き込むために働きかけなければならない場面</p> <p>実行力…決めたことを最後までやり抜くことができたか</p> <p>課題発見力…現状を分析して、何が問題かを見つけることをしたか</p> <p>計画力…目標達成に向けて、計画を作成・確認・修正したか</p> <p>創造力…課題解決のために新しいアイデアや解決策を提案できたか</p> <p>発信力…自分の意見を他人に分かり易く話さなければならない場面</p> <p>傾聴力…他人が話している内容を聞き取らなければならない場面</p> <p>柔軟性…自分と他人の意見が食い違ってしまった場面</p> <p>状況把握力…他人と協働するため、周囲の状況によく配慮して行動しなければならない場面</p> <p>規律性…約束・ルール・マナーを気を付けなければならない場面</p> <p>ストレスコントロール力…目標達成のために、ストレスを感じた場面</p>
	働きかけ力		
	実行力		
考え抜く力 (シンキング)	課題発見力		
	計画力		
	創造力		
チームで働く力 (チームワーク)	発信力		
	傾聴力		
	柔軟性		
	状況把握力		
	規律性		
	ストレスコントロール力		

裏面に12の能力要素の説明をつけておく

教員への連絡・質問・悩み・その他(問題点を含むチームの活動状況)

担当教員からのコメント

【中間】評価シート 事前～事中(中間)までの評価

□ …学生本人記入欄

■ …教員記入欄

□ …外部評価者記入欄

■ …教員・講師記入欄

氏名		学籍番号		記入日	平成 年 月 日	科目		担当教員	
所属		学部・研究科	学科	専攻	学年	年	協力企業	外部評価者	
活動内容	(進捗状況を箇条書きで記入。できれば、詳細に記入することが望ましい。)								

社会人基礎力の分類	能力要素	自己のレベル評価	評価の根拠(具体的行動事実) <small>(いつ、どんな状況(場面)で、どのように努力または工夫をすることにより発揮(しよう)したと思うか、もっと努力や工夫が必要と感じたか)</small>	教員のレベル評価	評価の根拠(具体的行動事実)	外部評価者のレベル評価	評価の根拠(具体的行動事実)	教員と外部評価者の総合評価	今後の行動目標
前に踏み出す力 (アクション)	主体性								(例:他人の協力が必要な場面で、断られることを恐れず、自分から積極的に働きかけていきたい。)
	働きかけ力								
	実行力								
考え抜く力 (シンキング)	課題発見力		できれば、中間評価までに「活動記録シート」に記入してきた行動事実を引用して書くことが望ましい。		学生の特徴をよく表すコメントは、プログレスシートへ転記可能		学生の特徴をよく表すコメントは、プログレスシートへ転記可能		他者による評価レベルとコメントも踏まえ、学生が今後の行動目標を書く
	計画力								
	創造力								
チームで働く力 (チームワーク)	発信力						教員と外部評価者の評価レベルをもとに、再度、教員が総合的に判断し、評価結果を記入→プログレスシートへ転記可能		
	傾聴力								
	柔軟性								
	状況把握力								
	規律性								
	ストレスコントロール力								

	実際に活用した(学んだ)知識・スキル等 <small>(例:データについて回帰分析を行った)</small>	気づいたこと <small>(例:回帰分析では説明できないことがあることに気が付いた)</small>	今後の行動計画 <small>(例:課題解決作業と並行して、教科書で重回帰分析を総合的に学ぶ)</small>
その他習得を目指す知識・スキル等	事後評価シートの「活用した(学んだ)専門知識やスキル等」へ記入する際の参考とする。	今回活用した知識等の必要性や、自分が習得してきた知識等ではまだまだ不足していたことなど、気づいたことを記入す	今後必要な知識等の習得のために、具体的にどのように取り組むかを記入す
現在の活動の達成度から見た今後の行動目標	(例:商品提案のために調査を実施したので、具体的な立案を進めたい、企業への提案時に指摘されたことを踏まえ、改善案をまとめたい 等)		
教員・講師への連絡・相談	(特になければ空欄でも構いません)		

教員・講師からの講評・アドバイス		教員・講師名
------------------	--	--------

【事後】評価シート① 事中(中間)～終了時までの評価

□ …学生本人記入欄

■ …教員記入欄

□ …外部評価者記入欄

氏名	学籍番号	記入日	平成 年 月 日	科目	担当教員
所属	学部・研究科	学科	専攻 学年	年 協力企業	外部評価者
活動内容	(進捗状況を箇条書きで記入。できれば、詳細に記入することが望ましい。)				

社会人基礎力の分類	能力要素	自己のレベル評価	評価の根拠(具体的行動事実) (いつ、どんな状況(場面)で、どのように努力または工夫をすることにより発揮(しよう)したと思うか、もっと努力や工夫が必要と感じたか)	教員のレベル評価	評価の根拠(具体的行動事実)	外部評価者のレベル評価	評価の根拠(具体的行動事実)	教員と外部評価者の総合評価	今後の行動目標
前に踏み出す力(アクション)	主体性				学生の特徴をよく表すコメントは、プログレスシートへ転記可能		学生の特徴をよく表すコメントは、プログレスシートへ転記可能		他者による評価レベルとコメントも踏まえ、学生がプロジェクト終了後の目標を書く
	働きかけ力								
	実行力								
考え抜く力(シンキング)	課題発見力		できれば、事後評価までに「活動記録シート」に記入してきた行動事実を引用して書くことが望ましい。						
	計画力								
	創造力								
チームで働く力(チームワーク)	発信力						教員と外部評価者の評価レベルをもとに、再度、教員が総合的に判断し、評価結果を記入→プログレスシートへ転記可能		
	傾聴力								
	柔軟性								
	情況把握力								
	規律性								
	ストレスコントロール力								

	実際に活用した(学んだ)知識・スキル等	気づいたこと	今後の行動計画
その他習得を目指す知識・スキル等	(例: データについて回帰分析を行った) 次ページの「活用した(学んだ)専門知識やスキル等」へ記入する際の参考とする。	(例: 回帰分析では説明できないことがあることに気が付いた) 今回活用した知識等の必要性や、自分が習得してきた知識等ではまだまだ不足していたことなど、気づいたことを記入する。	(例: 課題解決作業と並行して、教科書で重回帰分析を総合的に学ぶ) 今後必要な知識等の習得のために、具体的にどのように取り組むかを記入する。
現在の活動の達成度から見た今後の行動目標	(例: 商品提案のために調査を実施したので、具体的な立案を進めたい、企業への提案時に指摘されたことを踏まえ、改善案をまとめたい 等)		
教員・講師への連絡・相談	(特になければ空欄でも構いません)		

【事後】評価シート② プロジェクト活動全体の振り返り



…学生本人記入欄



…教員記入欄



…教員・講師記入欄

分類	要素	事前 レベル	中間 レベル	事後 レベル	具体的行動事実 (能力要素レベルの推移を 証明できる事実)	活用した (学んだ) 専門知識 やスキル等	関連科目名	内容	
(前に アタリ 踏み 出す 力)	主体性				プロジェクト全体を通して、自分自身の行動を振り返り、当初はできなかったことができるようになったことなど、自身の成長を具体的に行動事実で記載する。			プロジェクト全体を通して学んだ専門知識・スキルを、中間・事後評価の「その他習得を目指す知識・スキル等」も参考にして、教員が記入する →プログレスシートへ転記可能	
	働きかけ力								
	実行力								
(シン キン グ力)	課題発見力				プロジェクト全体を通して、自分自身の行動を振り返り、当初はできなかったことができるようになったことなど、自身の成長を具体的に行動事実で記載する。			プロジェクト全体を通して学んだ専門知識・スキルを、中間・事後評価の「その他習得を目指す知識・スキル等」も参考にして、教員が記入する →プログレスシートへ転記可能	
	計画力								
	創造力								
(チ ーム で 働 く 力)	発信力				(例:プロジェクト前半では、議論の最中、自分が出した企画に対してチームメイトから反対の意見が出ると感情的になってしまい、他者の意見に聞く耳を持てなかった。しかし、中間評価で自身の柔軟性が弱いことを知り、他人の反対意見の良い部分を積極的に取り入れていこうと意識した結果、徐々に柔軟に受け入れられるようになり、チームメイトに指摘された自分の企画の短所を補うアイデアをチーム全員で考えた結果、自分一人ではとても思いつかないような企画にまとまり、学内の成果発表会でも大好評だった。)	(チームとしての) 活動成果		チームとして共通の内容を記入 →プログレスシートへ転記可能	
	傾聴力								
	柔軟性								
	状況把握力					プロジェクトでの 役割・担当としての活動			教員が学生個人別に記入する →プログレスシートへ転記可能
	規律性								
	ストレス コントロール力								
教員・講師からの 講評・アドバイス									教員・講師名

平成〇〇年度

社会人基礎力育成型科目

○ ○ × ×

プログレスシート

－ あゆみと成長の記録 －

学籍番号

学生氏名



社会人基礎力に関する気づきと成長記録

大学	学部	学科	氏名
学籍番号			

科目		担当教員	
プロジェクトの 活動内容、目標	<div style="border: 2px dashed black; padding: 10px; background-color: #f8d7da;"> 事前評価の同じ項目をコピーして貼り付けることも可能 </div>		
協力企業		外部評価者	

■ 自己評価の履歴

分類	要素	事前 レベル	中間 レベル	事後 レベル	具体的行動事実 (各能力要素レベルを証明できる事実)
(前に ア ク シ ミ ヨ 出 ン す カ)	主体性				<div style="border: 2px dashed black; padding: 10px; background-color: #f8d7da;"> プロジェクト終了時、事後評価シートに、学生がプロジェクト全体を振り返って、自身の成長について新たに書いたものを貼り付ける </div>
	働きかけ力				
	実行力				
(シ 考 ン キ 抜 ン グ カ)	課題発見力				
	計画力				
	創造力				
(チ ー ム で 働 く カ)	発信力				
	傾聴力				
	柔軟性				
	状況把握力				
	規律性				
	ストレスコントロール力				

活用した (学んだ) 専門知識 やスキル等	関連科目名	内容
	事後評価シートの同じ項目から選んで、コピーして貼り付けることも可能	
(チームとしての) 活動成果	事後評価シートの同じ項目をコピーして貼り付けることも可能	
プロジェクトでの 役割・担当としての活動	事後評価シートの同じ項目をコピーして貼り付けることも可能	

■ 他者(教員・外部評価者<企業人等>)評価の履歴

分類	要素	事前 レベル	中間 レベル	事後 レベル	具体的行動事実 (各能力要素レベルを証明できる事実-評価の根拠)	
					事前-中間	中間-事後
(前に 踏み出す 力)	主体性					
	働きかけ力					
	実行力				(記入者)	(記入者)
(シンキング 力)	課題発見力					
	計画力					
	創造力				(記入者)	(記入者)
(チームで 働く力)	発信力					
	傾聴力					
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性					
	ストレスコントロール力				(記入者)	(記入者)

中間・事後の「教員と外部評価者の総合評価」をコピーして貼り付けることも可能

中間・事後評価の教員または外部評価者のコメントを選んで、コピーして貼り付けることも可能。教員が、外部評価者のコメントをふまえて新たに作成してもよい。

◆「プログレスシート(あゆみと成長の記録)」について◆

「プログレスシート」は、学生が受講した社会人基礎力育成型科目の活動の中で、どのような行動や学習をしたのか、活動終了時にお知らせするものです。社会人基礎力の12の能力要素に照らした学生の強み・弱みの自己評価・他者評価、その成長の記録、プロジェクトでの役割やチームとしての成果などをまとめています。

学生の皆さんは、このシートをこれまでの活動の振り返りや、今後の更なる成長に向けて何を行うべきかを考える材料の一つとして、活用してください。また、企業の皆様には、このシートを学生への理解を深め、今後のキャリアパスを考える材料の一つとして、ぜひご活用ください。

社会人基礎力とは

社会人基礎力とは、職場や地域社会の中で多様な人々と共に仕事をしていくために必要な基礎的な力として、経済産業省が定義した3つの能力、12の要素のことをいいます(下表参照)。

評価とは

今回の活動の中で、学生が、「いつ、どんな状況で、どのような努力や工夫することにより発揮したか」という行動事実を記録し、以下の基準に照らして、評価を実施しております。

- レベル1: 発揮できなかった(どうしてもできなかった)
- レベル2: 通常の状況では発揮できた(何とかできた)
- レベル3: 通常の状況で効果的に発揮できた(見事にできた)
- 困難な状況でも発揮できた(とても難しかったが、何とかできた)

分類	能力要素	定義	発揮できた例
(前に踏み出す力)	主体性	物事に進んで取り組む力	自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組むことができる 自分の強み・弱みを把握し、困難なことでも自信を持って取り組むことができる 自分なりに判断し、他者に流されず行動できる
	働きかけ力	他人に働きかけ巻き込む力	相手を納得させるために、協力することの必然性(意義、理由、内容など)を伝えることができる 状況に応じて効果的に巻き込むための手段を活用することができる 周囲の人を動かして目標を達成するパワーを持って働きかけている
	実行力	目的を設定し確実に実行する力	小さな成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組み続けることができる 失敗を怖れずに、とにかくやってみようとする果敢さを持って、取り組むことができる 強い意志を持ち、困難な状況から逃げずに取り組み続けることができる
(シキンを抜く力)	課題発見力	現状を分析し目的や課題を明らかにし準備する力	成果のイメージを明確にして、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握できる 現状を正しく認識するための情報収集や分析ができる 課題を明らかにするために、他者の意見を積極的に求めている
	計画力	課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力	作業のプロセスを明らかにして優先順位をつけ、実現性の高い計画を立てられる 常に計画と進捗状況の違いに留意することができる 進捗状況や不測の事態に合わせて、柔軟に計画を修正できる
	創造力	新しい価値を生み出す力	複数のもの(もの、考え方、技術等)を組み合わせ、新しいものを作り出すことができる 従来の常識や発想を転換し、新しいものや解決策を作り出すことができる 成功イメージを常に意識しながら、新しいものを生み出すためのヒントを探している
(チームで働く力)	発信力	自分の意見をわかりやすく伝える力	事例や客観的なデータ等を用いて、具体的にわかりやすく伝えることができる 聞き手がどのような情報を求めているかを理解して伝えることができる 話そうとすることを自分なりに十分に理解して伝えている
	傾聴力	相手の意見を丁寧に聴く力	内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解することができる 相槌や共感等により、相手に話しやすい状況を作ることができる 相手の話を素直に聞くことができる
	柔軟性	意見の違いや立場の違いを理解する力	自分の意見を持ちながら、他人の良い意見も共感を持って受け入れることができる 相手がなぜそのように考えるかを、相手の気持ちになって理解することができる 立場の異なる相手の背景や事情を理解することができる
	状況把握力	自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力	周囲から期待されている自分の役割を把握して、行動することができる 自分にできること・他人ができることを的確に判断して行動することができる 周囲の人の状況(人間関係、忙しさ等)に配慮して、良い方向へ向かうよう行動することができる
	規律性	社会のルールや人との約束を守る力	相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解している 相手に迷惑をかけたとき、適切な行動を取ることができる 規律や礼儀が特に求められる場面では、粗相のないように正しくふるまうことができる
ストレスコントロール力	ストレスの発生源に対応する力	ストレスの原因を見つけて、自力で、または他人の力を借りてでも取り除くことができる 他人に相談したり、別のことに取組んだりする等により、ストレスを一時的に緩和できる ストレスを感じることは一過性、または当然のことと考え、重く受け止めすぎないようにしている	